

Sievers Eclipse*

エンドキシン自動試験を簡素化する3つの方法

従来のエンドキシン試験は、時間と手間がかかり、エラーや再試験の頻度が多いことで知られています
Sievers Eclipseは独自のマイクロ流体技術によってエンドキシン試験の効率化を実現します



自動分注機能

1.

従来の手動セットアップ:

- 96ウェルプレートアッセイには200回以上のピペット操作が必要
- アッセイのセットアップに1時間以上かかることが多い
- ピペット操作の繰り返しによる腱鞘炎リスク
- ヒューマンエラーが発生しやすい
- 検量線作成とピペット操作には熟練を要する

Sievers Eclipseによる自動セットアップ:

- 21サンプルのために必要なピペット操作は27回だけ
- わずか9分でアッセイをセットアップ可能
- ピペット操作の繰り返しによる腱鞘炎リスクを軽減
- 検量線自動作成のための標準品 (RSE) とPPCが充填済み
- ライセート試薬使用量を90%削減
- ヒューマンエラー発生率を低減



簡単操作

2.

- ピペット操作数の削減
- 検量線 / サンプル / 試薬の添加作業を最小限にする自動分注機能
- 簡単なトレーニング: 操作方法を迅速に習得できる
- FDA認証のライセート試薬を使用
- 小型なため試験室内のスペースを有効活用できる
- 複雑なロボットの設置 / バリデーション / メンテナンスが不要
- 合理化されたセットアップとバリデーション



安全で合理的なデータ管理

3.

- ソフトウェアは21 CFR Part 11とALCOA+の要件に適合
- クライアント・サーバ・アーキテクチャによるリモート制御が可能
- 各試験にはアッセイ固有の監査証跡
- カスタマイズ可能なデータ管理 / レビュー / サインオフ